

令和6年度にお寄せいただいたご提案の一部(令和6年度受付件数:39件)

提案	提案の概要	市の回答	その後の対応	担当課
<p>「ひよっこドクターのほけんしつ」を小千谷市に呼ぶ</p>	<p>新潟大学医学部が行っている取組「ひよっこドクターのほけんしつ」を小千谷市のイベント開催にあわせて呼んではいかがでしょうか。 小千谷市が「ひよっこドクターのほけんしつ」を呼ぶと次のような「三方よし」のメリットがあります。 ①市民は、無料で健康相談を受けることができる。 ②小千谷市は、地域医療に興味がある医学科の学生に小千谷市を知ってもらえる。 ③ひよっこドクターは、訪問先を確保できる。 「ひよっこドクターのほけんしつ」は大学の中では部活動のような位置づけの団体で、メンバーは地域枠の学生が多く、地域医療に興味を持っている人が多いそうです。 ご検討いただければと思います。</p>	<p>医師の充足度を示す最新の医師偏在指数によると、新潟県は全国45位と低迷しており、医師確保対策が喫緊の課題となっています。 当市としましても、市民の健康を守るためには医師確保は重要な課題であると認識しており、地域医療の存続に向け、県と協力しながら医学部の地域枠確保・修学資金貸与制度など、さまざまな取組を行っているところです。 ご提案の「ひよっこドクターのほけんしつ」については、地域医療に興味がある学生が当市を訪れ、知っていただくことは、将来的に医師が当市や新潟県内で地域医療に携わっていただくきっかけになるのではないかと捉えており、当市が進める医師確保対策の目的と方向性を同じくするものであると考えています。 今後、当市で開催するイベントなどに、「ひよっこドクターのほけんしつ」をお呼びすることを前向きに検討してまいります。</p>	<p>令和6年11月24日に開催した「おちや健康フェスタ」で「ひよっこドクターのほけんしつ」(新潟大学医学生)をお呼びしました。来場者からの健康相談を受けていただくことで、市民の健康増進につながりました。</p> 	<p>健康・子育て応援課 健康増進係 0258-83-3640</p>
<p>マンホールカードを小千谷市の受験生へ配布</p>	<p>「落ちない」「すべらない」「かたい」という受験祈願を込めて、市内中学校3年生全員にマンホールカードを配布してはいかがでしょうか。 他市町村では受験生のお守りに配っているところもあります。 ご検討をお願いします。</p>	<p>マンホールカードは、下水道への理解・関心を深めていただくためのコミュニケーションツールとしたもので、国土交通省などが設立した下水道広報プラットフォーム(GKP)と全国の自治体が共同で制作しており、GKPが定める「マンホールカード発行要領」を守る必要があります。発行要領では、カードは1人につき1枚のみを手渡しで配布する(郵送は不可)ことを徹底するよう求められており、近隣他自治体では1人ひとりに手渡しでカードを配布したと伺っています。 以上の理由から、ご提案いただきました中学3年生全学年へのカードの一斉配布については、残念ながらご希望に沿うことはできませんが、当市としても、受験生の未来への挑戦を応援できないものかと考え、今年の12月1日より、希望する方に対しては、マンホールカードの配布に併せて、応援メッセージを添えた合格祈願の台紙をお配りすることにしました。 ぜひ「落ちない」「すべらない」「かたい」お守りとしてマンホールカードを集め、悔いのないように精一杯頑張られることを心より応援しています。</p>	<p>小千谷の将来を担う受験生や資格取得などを目指す方を応援するため、メッセージ付きの「合格祈願！マンホールカード」400枚を職員が心を込めて作成し、12月1日からサンプラザと錦鯉の里で受験生などに配布しました。</p> 	<p>企画政策課 秘書広報室 0258-83-3507</p>